



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第三二九号〕

処暑 しよしよ 八月二十三日

黄鐘調の鐘

伊勢市郊外、玉城町と度会町の境にそびえる国東山のふもとにある国東寺 くづかさん で、梵鐘 ぼんしやう をつかせてもらいました。

梵鐘の鑄造者は、「蛸路住 常保河内藤原清次」とあります。蛸路とは、現在の松阪市上蛸路町のこと、そこに住まう鑄物師、河内氏が宝暦七年（一七五七）に製作したものと記されています。伊勢神宮にも、蛸路の河内氏が名が刻まれた擬宝珠 ぎぼし があります。別宮、風日祈宮橋 かざひのみみや を飾る擬宝珠です。伊勢神宮と度会町にある国東寺になにか関わりがあるのでしょいか。

国東寺の寺伝では今から1400年前、聖徳太子が天照大神 あまてらす からお告げを受け、国東山の頂きに十一面観音像を安置したのが始まりといわれています。その頂には、天照大神と、その弟の素戔鳴尊 すさのおのみこと の胞衣 えな が埋められたという伝承も。胞衣は胎児を包んでいた膜と胎盤のことで、出産後に妊婦の体外に出されると、かつては油紙や壺に入れて、土中に埋められました。国東寺はかつて山上にありましたから、その信仰と内宮の祭神、天照大神が結びついてきたと思われれます。

寺の鐘ももとは山上にあったものです。重さ一トンといえますから、戦時中の供出も免れたのかもしれない。心地よい音色の梵鐘。説明板には鐘の音は「黄鐘調 おうしきちやう」とあります。西洋音楽の音階でいえば「ラ」の音。平安時代、京の都では東西南北の方位によって寺の梵鐘の音階を定めていたと文献に書かれています。音階も重要な都の情報だったのです。

ちなみに黄鐘調は、「午 うま」で、南にあたります。かつては山上で、今は度会 わかい の里の中に「ラ」の音色が風にのってわたっていきます。季節は秋、風も爽やかな「色なき風」に。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 来る福絵手紙公募展作品募集

今年のテーマは「病除けで福招き」。

古来より「病除け」として信仰される“赤”色の招き猫をはじめ、皆様の地域に伝わる疫病に効くと伝わる伝統色の招き猫や魔除け柄の招き猫など、皆様の元気で健康を願う招き猫の絵手紙を募集します。

応募規定：①1人につき1作品のみ。

②官製はがきまたは、同サイズの用紙を使用。

③未発表または発表予定のないもの。

④入選作品の著作権は、主催者に帰属するものとし、作者は著作者人格権を行使しない事に同意される方。

※なお、主催者側が開催主旨、公序良俗に反すると判断した場合には、作品の展示を差し控させていただきます。

応募先：住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、下記まで郵送。
〒516-8558 三重県伊勢市宇治中之切町52
おかげ横丁内「来る福招き猫まつり実行委員会」宛

締め切り：9月23日(水)必着分まで、作品は原則返却いたしません。

賞品：大福賞 1名(賞金3万円、記念品、賞状)
中福賞 1名(賞金2万円、賞状)
小福賞 1名(賞金1万円、賞状)
五十鈴川郵便局長賞 1名(記念品、賞状)
吉兆招福亭賞 1名(記念品、賞状)

※なお、上位入賞作品は、次回の招き猫まつりの切手シート、ポストカードにデザインを使用させていただきます。

受賞通知：9月29日(火)までに電話にて連絡

展示期間：9月29日(火)～10月11日(日)

展示場所：おかげ横丁内「特設会場」

主催：来る福招き猫まつり実行委員会

お問合せ：おかげ横丁総合案内 TEL0596-23-8838

五十鈴塾

○ 『忍者とは何か』

この講座では史実の忍者の実像についてお話ししたいと思います。

現代人にとっての忍者のイメージは、フィクションの忍者によってつくられたもので、史実の忍者とは、だいぶかけ離れています。

史実の忍者は、伊賀・甲賀地域含めた全国の地域にみられ、軍記物・日記・由緒書など、さまざまな史料に登場します。「忍び」「乱波」「素波」「傘口」「草」などと呼ばれていました。一言でいえば、「忍び」という特殊任務についていた足軽・下級武士です。身分がひくいとはいえ、彼らの活動が、戦争の勝敗を決めることさえありました。

フィクションの忍者とは異なる魅力を感じてくだされば、と思います。

と き／8月25日(火) 13:30～15:00

講師／高尾 善希(三重大学国際忍者研究センター准教授)

参加費／一般1,400円 会員900円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

つゆ たま 羊羹のきんとんと、露に見立てた錦玉の組み合わせ。
露の玉 秋の季語「露の玉」を、お菓子で表現しました。

の きく 嫁菜や野紺菊など、数多くの仲間を持つ野菊。
野 菊 練りきりで粒餡を包み、初秋の野末に揺れる、小さな白い花輪に見立てました。

ふじ ばかま 葛製の生地と緑餡で染め分けた、紫・白・緑の彩り。
藤 袴 この時季にふさわしい、花そのままの姿が印象的です。